

# 高知精神保健

発行所 高知市丸の内1丁目2-20  
高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内  
高知県精神保健福祉協会  
電話：088(823)1111・088(823)9669(直)  
FAX：088(823)9260  
E-mail：kochi-mhwa@mopera.net  
発行人 数井 裕光 編集人 諸隈 陽子

## 第281号

## 第61回高知県精神保健福祉大会

# 「こころの応急処置」

## ～ひきこもりと家族支援～



大会実行委員長 藤戸 良輔

新型コロナウイルスによる第7波の感染拡大の勢いは凄まじく、高知県においても8月半ばに「BA.5対策強化宣言」が発出されました。

重症化率が低いと言われているオミクロン株BA.5ですが、多くの医療機関や高齢者施設でクラスターが発生するなど、重症化リスクの高い陽性患者の増加に伴い、重症患者や死亡者数も増加の一途をたどっています。残念ながら、まだ効果的な汎用性のある治療薬がない状況です。

そのため、基本的な感染対策を徹底し、またワクチン接種することで、自らが感染するリスクを減らすこと、自分の体調をしっかり把握して、他者へ感染を拡げるリスクを減らすこと、大切な人を守るため、今の私たちには感染を拡げないためのこのような努力を続けることが大事だと思います。

また、ロシア軍によるウクライナへの侵攻は現在も続いており、いつになれば終わるのか全く予側が付きません。欧米がロシアに対する経済制裁を強化したことで、天然ガスや原油、小麦などロシアに依存する資源・農産物の価格が大きく変動し、食料品やエネルギーといった生活に欠かせない品目で広範に値上がりが進んでいます。

話は変わりますが、名古屋大学などの研究チームは、新型コロナウイルス感染症の経済的・社会的な影響により、世界的にひきこもりが増加している可能性がある、という研究を発表しました。2020年3月から欧州各国で新型コロナ感染拡大防止に向けた都市のロックダウンがおこなわれましたが、解除後も社会へ戻ることができないケースが見られることなどから、ひきこもり予備軍が増加しているといわれています。そういった子どもたちはもちろん、家族も大きな悩みを抱えています。

今回、九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授の加藤隆弘先生より、「家族が最初の支援者になるために身に付けたい5つのステップ「ひ・き・こ・も・り」というタイトルでご講演いただきます。加藤先生はうつ病やひきこもりの病態解明や治療法開発のため、大学病院に世界初の専門外来を立ち上げられました。また脳内炎症に深く関わるミクログリアと呼ばれる免疫細胞の精神薬理的研究をされるなど、他方面でご活躍されています。今回のメインテーマは「こころの応急処置」です。こころの不調に悩む人に対し、周りの人が少しでも早く気づき、よりよい初期支援（応急処置）をおこない、専

### 目次

第61回精神保健福祉大会(案内) .....	1
高知県精神保健福祉協会副会長 就任のご挨拶 .....	2
令和4年度 高知県ギャンブル等依存症フォーラム .....	3

令和4年度 高知県精神保健福祉関係機関連絡会 .....	4
精神障害者スポーツ事業の近況 .....	5
第61回高知県精神保健福祉大会 .....	6

門職につなぐかが重要です。どのような支援を提供すべきか、どのように行動すべきかを学ぶ機会になれば幸いです。

本大会は3年ぶりの現地開催を予定しておりますが、高知県の新型コロナウイルス感染拡大の状況

によっては、開催の中止またはWEBでの開催に切り替えさせていただく場合があります。高知県精神保健福祉協会ホームページをご確認くださいませようようお願い申し上げます。

## 高知県精神保健福祉協会副会長 就任のご挨拶



副会長 はしづめ 橋 詰 ひろし 宏  
医療法人おくら会  
藤戸病院院長

この度、数井会長より副会長を拝命されました橋詰です。簡単にこれまでの職歴を説明させていただきます。明神前会長時代に途中より、副会長を任命されました。現在藤戸病院院長として勤務しています。

当協会には、それ以前も理事の形で参加しておりますが、もとをただすと、高知医科大学（現 高知大学医学部）精神科勤務時代に、当時の井上教授より当協会の活動のお手伝いをするよう言われたのが最初です。自分で言うのも変ですがそれなりに若かったです。今は同じような立場で赤松先生が参加され頼もしいです。もう30年以上前になります。高知医科大学から当時の高知県立芸陽病院に異動し、更に現在の職場に移り微力ながら協会に関わってきました。

さて協会の今後をどのようにしていくのが適切

か現在も議論していますが、まさに、精神医療自体が年と共に大きく変貌しています。以前は、協会の福利厚生も長期入院している統合失調症の患者さん達に何か楽しみ、運動の機会などを提供していたように思います。

現在は、入院期間も短く、疾患も様々となっています。また、在宅でのケアが中心となり、就労の場所をみても多岐にわたり、A型事業所、B型事業所や、障害者雇用、復職支援など拡がるなか、また疾患についても発達障害が増え、いろいろな依存症など、我々精神保健福祉の対象がどんどん広がっているのが現状です。

ただ行事のなかで年一回開催されている精神保健福祉大会だけは、一昨年こそ新型コロナ感染拡大で中止になりましたが、それ以外は、担当病院の協力のもと、昭和35年から協会行事として開催してきました。その時々のお話のあることをテーマにし、県外より講師の方をお呼びして刺激を与えてもらってます。今後も重要な企画として続けていければと思います。

さまざまな課題がありますが、その中で、当協会は今後どのような活動をしていくのがよいか検討し、また数井会長を支えながら、会員の皆様と共に考えて行きたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

令和4年度 高知県ギャンブル等依存症フォーラム

# やめたくても、やめられない。 それって依存症かも…

コロナ禍の夏休み期間中、若い世代に薬物、アルコール、ギャンブルなどの依存症についての知識と予防についての啓発キャンペーン事業が高知県によって開催されました。

開催日時：令和4年8月18日(木) 14時から16時30分  
場所：高知県立県民文化ホール オレンジホール  
主催：高知県（担当：子ども・福祉政策部障害保健支援課）  
この事業は高知県競馬組合からの寄付金により実施しています。

- 内容：①講演  
「ギャンブル等依存症とは」  
高知大学医学部附属病院精神科医  
森田啓史 氏
- ②お笑いLIVE  
出演＝コロコロチキチキペッパーズ、  
もも
- ③講演  
「ギャンブル依存症にならないために」  
ギャンブル依存症問題を考える会代表  
田中紀子 氏
- ④トークセッション  
田中紀子氏、森田啓史氏、  
コロコロチキチキペッパーズ、もも、  
高知県の大学生（2名）

ギャンブル等依存症については、本人が病気である認識を持ちにくいことや問題の誤った認識により当事者や家族が悩みを相談しづらく適切な対応がとられにくいことがあり、依存症対策を進めていくためには県民への正しい知識の普及啓発と理解の促進が重要。特に新たに大学生・社会人となる若い世代は、ギャンブルやアルコール等に初めて接する世代であり、若い世代にギャンブル等依存症を正

しく理解し予防につなげてもらうことを目的に本フォーラムが開催されました。

当日は夏休み期間中ということもあり、小中学生、親子連れなど若い世代を中心に約160名の来場があり、講演二題、漫才二本の後、出演者全員と高知県内の女子学生二名を交えてのトークセッションが繰り広げられました。

当フォーラムの実況は後日主催者からインターネットで配信されることになっています。

(文責：谷 晃)

## ▶▶▶ 関連イベントのご紹介



YouTube



ホームページ

第8回 空と海とボクのココロ  
2022.10/2 日  
10:00-19:00  
イオンモール高知  
本館1階セントラルコート  
入場無料

お酒に関する困りごと  
ありませんか？  
大切なひとのために  
私たちがしっかりと考えます。

お酒の知識を  
アプリで勉強！  
無料相談コーナー  
山本あさむね先生  
アルコール依存症クイズ

主催 NPO法人 AKKこうち  
kochi.akk.jp@gmail.com http://kochi-akk.jp/

NPO法人AKKこうち  
「第8回空と海とボクのココロ」開催

## 令和4年度 高知県精神保健福祉関係機関連絡会

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、連年標記連絡会も文書の交換をもって開催されてきましたが、本年7月の少し落ち着いた時期に、当協会数井会長が初めて出席し10団体の出席をもって開催されました。

日時： 令和4年7月6日(水) 18:30から20:30

場所： 高知城ホール

### 1. 認定NPO法人 高知いのちの電話協会

<https://k-inochi.org>

第21期生15名の相談員が認定され120名の登録となる。コロナ禍の中皆で協力しあいさらに繋がるダイヤルを目指し、不在日解消や電話相談員の定着等に取り組む。第22期生養成講座受講者は19名で4月に開講した。

### 2. 高知県社会福祉協議会

<https://www.kochiken-shakyo.or.jp>

成年後見制度の利用促進のため権利擁護センターで高齢者・障害者権利擁護センター事業として研修等を行う一方、新たに権利擁護後方支援ネットワーク事業を県域全体と県内ブロックを対象に立上げ、市町村にはアドバイザーの派遣や研修の実施等を行いその体制整備を支援する。

### 3. 高知県精神障害者家族会連合会

電話相談を毎週水曜日午前10時から12時まで行う。(電話番号=088-802-7244) 高知県域と幡多・高幡・中央・安芸の4つのブロック研修会を開催。120名の会員の高齢化と減少が課題。

### 4. 高知県精神障害者地域生活支援施設連絡会

<https://www46.atwiki.jp/kochi-shstsren>

新型コロナウイルス感染防止対策に配慮しつつ年4回の研修を予定。テーマは精神障害の理解と対応(2回)、防災対策、権利擁護など。Youtubeを利用したオンライン研修が、事業所が小規模で研修参加しづらい会員に好評で今後の活用を模索している。

### 5. 高知県精神保健福祉士協会

<https://kochi-psw.com>

事務局を高知県のソーシャルワーカー3団体で共有することになり、団体としての連携や協働をより推進していく。(〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号丸ノ内ビル内高知県社会福祉センター3F)

### 6. 高知県断酒会連合会

<https://www.kcb-net.ne.jp/dansyu>

高知県内3団体の連合組織で、正会員55名で構成、相互の融和を図っている。コロナ禍により予定されていたブロック大会や各地域での事業が中止せざるを得ない状況だが、オンライン方式(Zoom等)の例会や学習会を多く取り入れている。

### 7. 高知県臨床心理士会

高知県内140名の会員対象の研修会と関係機関と連携しての活動をおこなう。般社団法人日本臨床心理士会の災害支援プロジェクトチームとしてウクライナ問題に関与。福祉医療機構助成による地域引きこもり家族会支援プロジェクト事業を初めて行う。

### 8. 日本精神科看護協会高知県支部

<http://www.jpna.jp>

現在25施設、450名の会員で活動。ZOOMなどWEB環境を利用した教育体制を構築しようとしている。例年の「こころの日」イベントや出前講座は1,2年出来ていない。障害者スポーツ大会の支援、看護部長の会などをして行く。

### 9. 高知県精神保健福祉ボランティア連絡協議会

コロナ禍ありながら6月20日(土)午後、ソレ研修室で総会を開催した。定期的な情報交換会、ボランティアの資質向上と啓発を兼ねた学習会、当事者の表現の場と交流の場の提供を行っていく。11月、第22回精神保健福祉ボランティア全国の集いin京都に参加の予定。

### 10. 高知県精神保健福祉協会

第61回高知県精神保健福祉大会を、10月19日(水)13:00~15:20、高知県立高知県民文化ホール(グリーン)で開催する。テーマ「こころの応急処置 ファーストエイド 最初の対応をどうするか」講師は加藤隆弘氏(九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授)

(文責:谷 晃)

## 精神障害者スポーツ事業の近況 ～全国障害者スポーツ大会など～

高知県精神保健福祉協会 広報部 田所 淳子

昨今、精神障害のある方もスポーツを楽しむ、あるいは競技に打ち込める社会になってきましたが、数ある社会参加事業の中でも公的大会である全国障害者スポーツ大会は精神障害者に門戸を開いて20余年になりました。競技種目は当初、バレーボールだけでしたが、令和元年度から個人選手参加の卓球競技も採用されました。

ところが、令和元年10月は台風19号により全国大会初の中止。翌年から新型コロナウイルス感染症のまん延により、令和2年の鹿児島県、令和3年の三重県での全国大会は連年で中止になりました。

かれこれ全国大会は3年も実施されておらず、事前の予選会であるブロック大会もことごとく中止となりました。

しかし、令和4年は、感染対策に留意しながら初夏のブロック大会は実施され、全国6ブロックの代表が試合により選考されました。今年10月栃木県での全国大会が開催されると、まさに4年ぶりの全国大会、となります。

そして、卓球競技。初めて開催される予定であった令和元年度は、前述の台風により実施できず、新型コロナウイルス感染症まん延でさらに2年できず。やっと今年の大会で初めて実施される予定です。卓球競技は、各都道府県・指定都市から男性1名・女性1名を上限に参加できます。高知県からは男性1名が試合選考され、県代表として栃木県の全国大会に参加する予定です。

最後に、全国大会出場の参加資格についてです。現在の要資格は①精神障害者保健福祉手帳所持者 ②自立支援医療（精神）の受給者証所持者 となっています。本事業の主催者団体でもある（公社）日本精神保健福祉連盟 精神障害者スポーツ推進委員会（委員長 大西 守氏）は、「近年のうちに②は廃止し、①の手帳所持者に限定する」との方針で協議を進めています。よって、今後、公的大会に参加を希望している方には、ぜひ精神障害者保健福祉手帳の取得をお勧めいただきますようお願いいたします。



とちぎ国体・大会承認第1-89号

KAITEKI Value for Tomorrow  
三菱ケミカルホールディングスグループ

精神科医療の  
真のパートナーを  
目指して

田辺三菱製薬グループ

吉富薬品株式会社  
大阪市中央区道修町3-2-10  
http://www.yoshitomi.jp/

なんとかしたい。  
だから、挑む。

Sumitomo Pharma

第61回高知県精神保健福祉大会

# こころの応急処置

## ～ひきこもりと家族支援～

定員  
300名

入場  
無料

手話通訳・要約筆記あり

### 講演タイトル

## 家族が最初の支援者になるために 身に付けたい5つのステップ 『ひ・き・こ・も・り』

「社会的ひきこもり（以下ひきこもり）」は、6ヶ月以上にわたり、就労・学業など社会参加を回避し家庭内にとどまっている現象で、国内でひきこもり状況にある者（以下、当事者）は110万を越えると推定されている。思春期青年期に限らず8050問題といった高齢化が社会問題化している。演者は、大学病院に世界初のひきこもり研究外来を立ち上げ、国内外の医療研究機関やひきこもり支援団体と連携し、ひきこもりの多面的理解に基づく具体的な支援法の開発をすすめている。今回、演者らが開発した評価法・支援アプローチを紹介し、特に家族向けに開発した「ひ・き・こ・も・り」という5つのステップに基づく教育支援プログラムを紹介する。

### 講師

九州大学大学院  
医学研究院精神病態医学  
准教授

かとう たかひろ  
**加藤 隆弘**



**日時** 令和4年10月19日  
午後1時～3時20分

**場所** 高知県立県民文化ホール(グリーン)

### プログラム

- PM1:00 開会あいさつ  
高知県精神保健福祉協会会長 数井 裕光  
来賓あいさつ  
高知県知事 濱田 省司  
高知市長 岡崎 誠也  
高知県医師会長 野並 誠二
- PM1:20 表彰式
- PM1:30 …………… 休 憩 ……………
- PM1:45 講演  
演題 **家族が最初の支援者になるために身に付けたい  
5つのステップ 『ひ・き・こ・も・り』**  
講師 九州大学大学院医学研究院精神病態医学准教授  
加藤 隆弘
- PM3:15 閉会あいさつ  
高知県精神保健福祉協会副会長 山崎 正雄

[主催・事務局] 高知県精神保健福祉協会  
高知市丸ノ内1-2-20 高知県子ども・福祉政策部障害保健支援課内  
TEL:088 (823) 9669 E-mail:kochi-mhwa@mopera.net

### ご来場者へのお願い

- 新型コロナウイルス感染症の感染状況により、対応が変更になる場合があります。何卒ご了承ください。  
変更の場合には、高知県精神保健福祉協会のホームページにてお知らせをいたしますので、ご確認くださいませようお願いいたします。
- マスク着用、入場前検温、手指消毒、ご連絡先のご記入など新型コロナウイルス感染症の予防と対策にご協力をお願いいたします。

